



園主の内野様から農園のシステム／管理方法の説明を聞く



川鍋農園でイモ堀と豚汁を戴きました



イモの収穫作業





星野果樹園



星野様から果樹園の説明を聞く



上北台駅に15時30分に到着解散



収穫の野菜を持って解散



合同クラス会

先ず駅前の珈琲店でコーヒーを楽しみました



合同クラス会は玉川駅近くの焼鳥屋で開催しました



参加者名簿

大和中学同期会 第16回 34歩く会合同クラス会 床や 2015年10月16日(土) 10時東大和市駅 東大和市野菜めぐり 参加名簿				
氏名	組	会費	合同クラス会	
1 鈴木重勝	D	0	500	X
2 郡 和子	D	0	0	0
3 岡本 久子	D	0	0	X
4 伊沢 友夫	C	0	0	0
5 尾崎 都子	G	0	0	X
6				
7				
8				
9				
10				
11				

大和中学同期会 第16回 34歩く会合同クラス会 床や 2015年10月16日(土) 10時東大和市駅 東大和市野菜めぐり 参加名簿				
氏名	組	会費	合同クラス会	
1 三澤 淳	C	500	500	0
2 井藤 金治	G	500	500	0
3 米澤 勝彦	A	500	500	0
4 川鍋 正義	B	500	500	0
5 諸江 タツ子	G	1,000	1,000	X
6 木村 順子	A	500	500	0
7 小崎 日出子	F	500	500	X
8 若林 亮治	F	500	500	0
9 町田 邦	C	500	500	0
10 野中 隆	G	500	500	0
11 大貫 勇	C	500	500	X
12 大川 三又				
13				

東大和の農を訪ねて

野菜の直売、ファーマーズセンター、やすじいの農園などを訪ねて

東大和市は、私達が大和中学校に通っていた頃は、大和村で、村の北側には「本村」があり、南には「南街」があり、本村と南街の間は見渡す限り畑でした。

夏には麦畑が一面に広がり、冬から春先には空が茶色になるほど土埃が舞っておりました。

あれから55年、村から町そして市になり、市の真ん中を新青梅街道が通り、モノレールも走っております。それに伴い人口も増え、畑は次々に住宅や商業施設に変わってしまいました。

そんな中でも、本村の農家の方々は農地を守り、緑化にも貢献しています。

農作物は、昔は麦や芋類が主でしたが、物流が発達し、大型スーパーが進出してきましたので葉物や根菜類を中心に果物まで多種多彩の農作物が作られ、都市農業として活性化しております。

農家の方々は、農作物を野菜市場や大型スーパーに提供し、また共同直売場や畑の脇に作った直売場でも販売しており、市民は採りたての新鮮な野菜などを買うことが出来ます。

また、自分で土を掘り、種蒔きして農作物を作りたいという人達には、市民農園が大人気だ。

今回はそんな東大和の農を訪ね、気に入ったものや、新鮮な野菜や果物を手に入れる。

コースは西武線の武蔵大和駅に集合した後、野菜の直売場や市民農園や、野菜畑や果樹園などにも寄る。最後は芋掘りと大根を抜き、畑でとれた野菜たっぷりの豚汁を味わった。

新鮮な野菜などをザックに詰め込んで、モノレールの上北台駅で解散。

そして、今日の反省会とクラス会を玉川上水駅前の焼き鳥屋でやり、多いに盛り上がった！

(歩行距離；7～8 km) 約15,000歩

1. 開催日；平成27年10月24日(土) 10時集合

2. 集合場所；武蔵大和駅(西武多摩湖線)

3. 参加者；17名

4. 歩行コース；(ト)はトイレ

武蔵大和駅(ト)→地元農家の直売場→杉本園(茶工場)→JAみどり支店→市役所(ト)→

10:00 10:20 10:30 10:45 11:35 11:45 12:00

→ファーマーズセンター(ト)(昼食)→やすじいの農園→芋掘り、豚汁→梨・りんご園→

12:15 13:00 13:30 13:55 14:05 14:50 14:55 15:15

→上北台駅(解散)→玉川上水駅

15:30 15:45

(土)

「東大和の農を巡る」：歩行記

〔集合〕

今年の 9 月は長雨が続いたが、10 月に入り秋晴の日が続いている。昨晩は北風が吹き、今朝はかなり冷えたが、今日も秋晴で、ウォーキングには最適な陽気だ。今日は西武線の「武蔵大和駅」が集合場所だ。東大和市の東の端なので、参加者がどれほど集まるか心配だ。

9 時に家を出て、自転車で 9 時 15 分頃に集合場所に行くと、早くも懐かしい顔が一人待っていた。三沢さんだ。今朝は板橋からシルバーパスを活用してバスを乗り継ぎ、沼袋駅から西武線でやってきたとのこと。その後、次々に懐かしい仲間が元気に集まり、お互いの再会を祝す。久しぶりに奈良橋の鈴木さんも参加だ。

今日は東大和の農業について、「ブラマヨ」でなく「ブラ 34」または「農ウォーク」で巡ろう！

集合時間の 10 時になり、17 名が集まった。本日のコースの説明と、次回の予定を説明し、武蔵大和駅入り口で集合写真を撮り、いざ出発。(10:10)

今回のウォーキングの日程は、野菜の収穫時期に合わせてこの日に決めたが、今年は 9 月の長雨と日照不足で、白菜などの野菜の生育はかなり遅れているようだ。

武蔵大和駅の西の交差点は、奈良橋方面からの道が曲りくねっているため、我々の同級生の野口君の家の前にバイパスが作られ、その仕上げ工事中だ。その脇の路地を抜けると、古い長屋門の屋敷がある。著名な日本画家の吉岡堅二画伯が住んでいた屋敷だ。

吉岡画伯は、中国や日本の仏像や仏画を取材し、この家のアトリエで独自の日本画などを製作し、法隆寺の壁画の模写なども手掛けた人だ。

この家屋敷は、将来「東大和郷土美術園」として公開が予定されているが、現在は年に 2 回の限られた期間しか公開されていない(1 週間前が公開日だった)。後日、機会があったら中を見学したいものだ。屋敷の長屋門を見て、先に進むと右手には清水神社があり、鳥居には緑がかった立派な注連縄が掛けられている。

〔野口農場〕(野菜の直売所)

清水神社から「やまもも通り」に出て、直売所で野菜などを販売している野口さん宅に入る。(10:20) 野口さんは丁度、庭の柿をもぎ取っている最中だった。

庭続きの広大な畑には大根、白菜、キャベツ、ブロッコリー、のらぼう、茄子など、多種多彩な野菜が整然と植えられており、元気に育っている。野口さんのお母さんは直売所で野菜などを並べている。野菜畑を見学し、野口さんにいろいろと質問をし、新鮮で安全な地元野菜の認識を高めた。直売所にはキャベツやブロッコリーや人参やナス、柿の他にササゲ(豆)なども売っている。

我々の仲間もナスやササゲなどを買い込む。野口さんとお母さんの笑顔が素敵だ！(10:30)

野口さんの直売所から「やまもも通り」を南に進むと、花を売っている直売所がある。パンジーの苗が 100 円で、他に菊なども売っている。入口には御岳神社の「お犬様」の守り札が貼ってあり、いかにも東大和の農家らしいたたずまいだ。

更に進むと、空堀川に出る。この辺の空堀川は良く整備されており、川幅が広く両側には遊歩道が完備されており歩き易い。遊歩道には花が植えられ、コスモスなどが咲いている。川の中を覗くと、川岸の雑草が刈り取られ、スッキリしており、水は清流のなっており、無数の小魚が泳いでいる。川岸にはカモが数羽、羽を休めている。川魚をお腹一杯食べて満腹なのかもしれない。この辺にはカワセミが居るので、見つけながら遊歩道を歩いた。

やがて「製茶の杉本園」に到着。(10:45)

「杉本園」(製茶)

杉本園では、ご主人の杉本さんが息子さん共々工場の前で、製茶の方法などを熱く語ってくれた。そして娘さんが青山学院に行っていた縁で、青学に留学している種々の国々の学生達が、大型バスで毎年 5 月にやってくる。そして茶摘み体験をし、工場で製茶の行程を見学し、更に抹茶を味わい、日本文化を体験するという。

25 歳の息子さんは、静岡の製茶専門学校に 2 年間学び、最先端の製茶技術を習得しているという。一通りの説明を聞いた後、工場の脇の茶畑に行き、高所に設けられた霜避けの扇風機を動かしてみた。扇風機はかなりの勢いで回り、茶の木が風で揺れるのが見てとれる。

扇風機は、新芽を出す前に伸びた枝を刈り取った 3, 4 月頃、気温が 3, 4 度以下になったら、新芽が霜で痛められないように、自動的に作動するのだ。私達の質問に、茶畑の品種は「やぶきた」で、緑茶の生産の他、ウーロン茶や紅茶の製造についても丁寧に説明してくれた。杉本園では紅茶も製造しており、店で販売している。

再び店に戻り、息子さんから「美味しい緑茶の入れ方」について、説明と実演があった。急須から数名分を均等に注ぎ、最後に急須を振り、中の水

分を茶碗の中に振り絞ること。心を込めて入れていただいた緑茶を味わった。渋さの中に甘みがあり、深い味わいがあった。我々仲間も、実際に緑茶を入れてみた。1人分の茶の量は4、5グラムでかなり多い。(11:35)

〔みどりっこ〕

杉本園からは新青梅街道を横断し、「仲原緑地の遊歩道」に出る。この遊歩道は植木なども良く手入れされており、緑の中の素敵な路だ。この遊歩道を西へ進むと、やがて左側にJA 仲原支店が見える。この支店は、最近新しく出来たばかりで明るく素敵な建物だ。

この支店では平日の午前中に「みどりっこ」で、市内の農家の野菜の直売をしているが、今日は土曜日なので閉店だ。土日曜日も開店すれば販売促進にもなるのにね。

遊歩道を更に進むと、住宅地に入る。この辺は区画整理が十分になされずに個々に開発されたために、通り抜ける路がほとんどなく、迷路のようだ。先ず児童公園に入ると、滑り台などがある。大貫さんは早速滑り台に登り、スーと一滑り。金ちゃんはジャングルジムに登る。

迷路の道をいくつか曲がり、やっと青梅街道に出て、市役所に入る。

中央公民館では、市民文化祭が開催されており、市民ホールではストリートダンスの発表会が行われており、ホール前には舞台用にお化粧し、個性的な衣装を着た人達が出番を待っている。

〔ファーマーズセンター〕

市役所は今年から2年計画で補強工事中で、建物がすっぽりと保護膜で覆われている。

今日は土曜日なので市民課のみ窓口が開いている。トイレを借りて北口から出て、東大和高校の北側を通り、八幡通りを横断して西に進む。やがて左手に黄色い建物が見えてきた、ファーマーズセンターだ。ここには小さく区画された市民農園が広がっており、白菜やキャベツなどが各畑で元気に育っている。一区画当たり30m²で、年間36,000円の耕作料とのこと。

予約しておいたのでファーマーズセンターの会議室に入り、ゆっくりと座って昼食とする。(12:20)

諸江さんが、地元から買ってきた大きな団子を30本ほど差し入れしてくれた。本当にありがとうございます。(重かったことでしょう) ダンゴは大きくて柔らかく、あまり塩っぱくなくてとても美味しい。あまり美味しいので、遠慮なく2本も頂いてしまった。

美味しいお弁当を食べ、談笑している間にも、お菓子やチョコレートなどの差し入

れが回ってくる。ごちそうさま！

ファーマーズセンターの前で集合写真を撮り(13:05)、コスモスの咲く公園を横切って、フランス料理屋の前を通り、老人ホーム「気まま館東大和」に入る。ここには、かつての映画俳優の柳澤愼一氏が名誉館長になっており、何年か前には顔を見かけたが、最近はどうしているかしら・・・

この老人ホームのレストランは、外部の人でも美味しいランチを食べられますよ、よろしかったら一度いかがでしょうか。

第4小学校の東側の大根畑の脇を通り、「カワイ化粧品」の立派なビルの前に出る。このビルはいつも人の気配が無いが、どんな人が入っているのかしら、不思議だ。

[やすじいの農園]

再び新青梅街道を横断して北に進み、芝中団地の中央公園に入る。櫟の落葉が溜まっており、木陰は涼しくて気持ちが良い。誠愛保育園の脇を抜け、梨の直売所の前を通り、やがて「やすじいの農園」に到着。(13:30)

予め連絡しておいたのに園主の姿が見えないので、やむなく園内に入っていると、我々の同窓生の内野信夫君が、お孫さんを連れて来た。目の前が内野君の家だ。やがて、園主の内野さんがお見えになり、農園のシステムや畑の管理などについて、詳しく説明していただく。

現在、一区画3×10mが70区画あり、満杯状態だ。3月から1月末までの11か月間の耕作が出来る。季節毎に野菜の苗や種や肥料が支給され、植え方から手入れの方法などの指導があり、皆さん立派な野菜を育て、収穫している。無農薬で、青虫などは手でつまんで取り除いている。

今回参加している野中さんも農園のメンバーで、主に奥さまが畑仕事をしているとのこと。野中さんの畑の野菜も順調に育っている。農園のメンバーは、互いに友達（農トモ？）になり、友達の輪が広がり、楽しく農作業ができ、精神的にも良いようだ。

農園のあちこちの作物を見てから出発。(13:55)

「イモ堀り」

「やすじいの農園」からは、向台老人ホームの脇に出る。この老人ホームの建物は、芸術家?が意匠を凝らして協力し、造られたもので、外観も凝った景観で素晴らしい。

老人ホームの隣には野口医院があり、そこを回り込むと向台センターがあり、その隣にはお寺があり、我々老人には縁がありそうな施設が、ずらりと並んでいるのも面白い。センターでおトイレを借り、その前の畑地に入る。(14:05)

畑には白菜、キャベツ、ブロッコリー、ほうれん草、里芋などいろいろなものが育てられているが、大根の畑に入り、各自で選んだ大根を抜く。やや大きく育った大根は、抜けにくいものもあり、腰を入れて力一杯で引き抜く。

サツマイモは、蔓を鎌で刈り取り、鍬を入れて掘り起こす。肥料が効きすぎたためか大きく育ち過ぎた芋もあり、皆で手で掘り起こして袋に詰める。

サツマイモが掘り終わった頃、軽トラックで、大きな鍋に入った豚汁が届く。日橋さんと諸江さんが、皆さんにお椀に分けてくれた。秋晴れの暑い中を歩いてきたので、熱くてフーフーとしながら食べる野菜たっぷりの豚汁は、格別の美味しさだ。

豚汁を食べた後、野菜を掲げて記念撮影。(14:50)

〔星野園〕（果樹園）

畑を突っ切って新芋窪街道に出ると、先ほど寄った「やすじいの農園」の西側に出る。少し進むと、果樹園をやっている「星野園」に到着。(14:55)

「星野園」には梨畑とその奥にリンゴ畑、さらに大きなハウスの中では葡萄を作っている。梨の収穫は 9 月末で終了しており、今は何もない。梨畑は、枝が 1.8m 程の高さに横に伸ばされており、ご主人の星野さんが梨の枝の剪定をしている。上方に伸びる枝は実が付かず、無駄な養分を取られるので剪定しているとのこと。梨の種類は幸水や豊水で、接ぎ木で増やせる。木の上 4m 程の所には防鳥ネットが張られている。ご主人から梨作りの苦労話も聞く。

奥のリンゴ畑には、真っ赤なリンゴがタワワに実っており、その前で集合写真撮る。今年のリンゴは色付きがあまり良くないとか。

大きなハウスの中では、息子さんが葡萄の手入れをしているので話を聞く。この葡萄は地中には根を張らせずに、植木鉢状態にしてあり、自動的に給水をして栽培をしているという。品質や味にこだわりがあるのだろう。

「星野園」からは、野菜を詰めた重いザックを背負って上北台駅に向かう。(15:15)

上北台駅で、全員の完歩を確認して解散。(15:30)

今回の「東大和の農を巡る」で、あちこちの畑を巡ってきた結果、東大和には近郊野菜が沢山作られているのが確認できた。これらの野菜は、市内のスーパーなどに出荷されている。新鮮で安全な地元の野菜をたくさん食べて健康を維持し、これからも東大和の農業を応援して行こう！

〔合同クラス会〕

合同クラス会は、西武線の玉川上水駅前で開催した。

玉川上水駅への到着が早かったので(15:45)、駅の並びの珈琲屋さんで美味しい

コーヒーを楽しみながら談笑する。店には他の客もあり、かなりきわどい話も数々出たが、我々老人は店の奥の個室に入っていたので一安心。

その後、予約していた焼鳥屋に入り、生ビールで乾杯！(17:00) 秋晴れのやや暑い中を歩いてきたので、冷たいビールの喉越しがたまらない。

途中から郡さんも参加して 9 名で大いに盛り上がった。中学時代の話題や、各メンバーの配偶者とのなれ染や苦労話など話が尽きない。中には若い時にモテ過ぎて、長年付き合っていた彼女を何人か泣かせた羨ましい人も…

5 時前から始まった合同クラス会は、気が付いたら 8 時半を過ぎていた。また元気に再会することを約してお開きとした。(20:30)

今回は、3 年前に玉川上水を歩いて田村酒造までしか歩けなかったリベンジだ。羽村の堰から玉川上水を歩き、田村酒造に寄り、更に多摩川の岸を石川酒造まで歩いて、拝島に出る。

うまくすれば桜やチューリップの花が見えるかも。そして酒蔵巡りで美味しい酒を…